NISMAIL Version8 紹介資料

2021年7月

日本電気株式会社

\Orchestrating a brighter world

NECは、安全・安心・公平・効率という社会価値を創造し、誰もが人間性を十分に発揮できる持続可能な社会の実現を目指します。

NISMAIL Version8 紹介資料 目次

1.システム間データ連携の課題

クラウドとオンプレミスの並存環境の増加に伴う課題
データ連携の仕組みを構築する上での課題

2.システム間データ連携ソリューション

システム連携を簡単に構築できるNISMAIL

NISMAILの特長

クラウド・オンプレミス間のデータ連携ソリューション
簡単な設定で自動連携が可能に！

運用時の監視

3.事例

4.まとめ

5.問合せ先

システム間データ連携の課題

- クラウドとオンプレミスの並存環境の増加に伴う課題
- データ連携の仕組みを構築する上での課題

クラウドとオンプレミスの並存環境の増加に伴う課題

企業内のシステムが次々とクラウド化され、システムの特徴に合わせてプライベートとパブリックを使い分けるハイブリッドでの利用やオンプレミスでの利用など、複合的な環境におけるデータ連携をセキュアにかつ確実に行う必要性が出てきました。

データ連携の仕組みを構築する上での課題

FTPを利用してデータ連携の仕組みを構築した場合、様々な制御を業務アプリケーション側で行い、データ転送をコントロールしなくてはなりません。

データ連携における見落としがちなポイントをいくつかご紹介します。

データ連携の仕組みを構築する上での課題

課題 1

送信先のサーバがメンテナンスなどの理由で停止中、あるいは、ネットワーク障害などにより、送信ができない場合、業務アプリケーション側から改めて再送しなくてはなりません。

課題 2

ファイルを送信先に格納後、次工程のアプリケーションの処理でファイル利用の順番が狂ってしまい、
①新しいファイルのデータで更新後 ⇒
②古いファイルのデータが上書き更新してしまいます。

課題 3

FTPでは、データサイズのチェックを行っていないため、ファイル送受信中にデータが欠落していても気づきません。

FTPをベースに開発したシステムは属人化されていることが多く、担当者が抜けるとメンテナンスが困難になってしまうという課題もあります。

システム間データ連携ソリューション

- システム連携を簡単に構築できるNISMAIL
- NISMAILの特長
- クラウド・オンプレミス間のデータ連携ソリューション
- 簡単な設定で自動連携が可能に！
- 運用時の監視

システム連携を簡単に構築できるNISMAIL

NISMAIL(エヌアイエスメール)はクラウド~オンプレミス間ばかりでなく、様々な環境のシステムとのデータ連携を行うアプリケーションです。

よくある勘違い

「…MAIL」と製品名についていますが、メーカーではありません。メールが受信フォルダ/送信フォルダを使ってやりとりするのと同様の方法でファイル交換を行うので「MAIL」という言葉をいれています。

NISMAILの特長①

構築しやすい：運用が異なるシステムを改修なしで連携できる

運用時間や運用ルールが異なる各基幹システムの連携において、それぞれの違いを考慮した調整や開発が不要です。

異なるシステムの連携

運用の課題

NISMAILで解決

NISMAILはキューの仕組みを活かして、システムからファイルを預かるため

時間差があるファイル転送が可能

運用ルールの調整が不要

構築・設計しやすい

NISMAILの特長②

障害に強い：障害発生時でも他拠点に影響を与えず、復旧作業を最小限に抑える

送受信が可能な拠点・店舗とデータ転送を行い、送受信ができないところは、リトライを繰り返し、復旧した時点で送受信を行います。

- ✓ 業務処理とファイル転送が互いに影響を受けない
- ✓ 連携相手の影響を受けず、業務処理を継続できる
- ✓ 自動再転送で、ノンオペレーションで復旧可能

NISMAILの特長③

セキュアなファイル転送：

AES暗号とHTTPS転送を標準搭載し、ファイルの安全性を保証できる

- ファイル暗号は、堅牢な「AES256」、NEC製軽量暗号「TWINE」を提供
- HTTPS（SSL：TLS1.2）経路暗号でInternet上のファイル転送を保護

✓ 情報漏えいリスクを回避できる

✓ 通信経路上の盗聴・改ざんからファイルを守る

✓ 海外とファイルのやり取りの信頼性を向上させる

クラウド・オンプレミス間のデータ連携のソリューション

NISMAILを使えば、簡単な設定でクラウド～オンプレミス間のインターフェースファイルのやりとりを自動化することができます。

設定はフォルダ作成と相手先の指定だけ。クラウド側からはフォルダにファイルを置くだけで連携が可能になります。

データのやりとりだけでなくデータ到着後にアプリケーションを自動的に起動できるので、その後のアプリケーションの処理まで含めた自動化が可能です。

簡単な設定で自動連携が可能に！

設定が簡単：煩わしい初期設定が1画面で直感的に設定できる

自動化：ファイル転送から業務アプリケーション連携まで自動実行

従来より
約**81%**工数削減※1

業務処理に
専念できる

設定作業

後はフォルダに置くだけ、自動連携

- クラウド側
- ①フォルダ情報
 - ②相手サーバ情報
- オンプレ側
- ①フォルダ情報
 - ②相手サーバ情報

5分で構築
できました！※2

- ✓ 設定が簡単で構築しやすい
- ✓ インターフェース設定が不要で、設定誤り無し
- ✓ クラウドサービス事業者での利用実績

※1 従来のサーバ間転送の定義項目数と比較して、約81%の定義項目数が削減となりました。
※2 弊社作業員が、インストールから定義設定を行った時間となります。

運用時の監視

システム間のデータ連携状況を、NISMAILの確認画面から見る事ができます。

フォルダ単位、ファイル単位の状況確認が可能です。

フォルダ名	ファイル名	状態	最終更新日時
FOLDER-A	C:FOLDER¥CSV1	転送済み	2016/01/08 00:01:30
FOLDER-B	C:FOLDER¥CSV2	転送済み	2016/01/08 00:01:31
FOLDER-C	C:FOLDER¥添付FOLDER¥PDF1	転送待ち	2016/01/08 00:01:32

事例

事例(1/3)

流通業

本部-店舗間での確実なデータ連携を実現する際に、NISMAILを利用している。

公共

クラウドで保有する情報をバックアップセンターへの集約でNISMAILを利用している。

事例(2/3)

製造業

取引先とのインターネット経由でのデータ連携を安価に実現する際に、NISMOILを利用している。

取引先と、グループ企業間での通信 および 各種フォーマットの変換に NISMOILとEDIAI Serverを連携して利用している。

※EDIAI Server は企業間でのデータ連携などを実現するための EDI/EAI 統合ソリューションです。

事例(3/3)

建設業

各社からの発注データ送信にNISMAILを利用している。

海運代理店業

本社の自社システムとの輸出入情報を不安定なインターネット上で確実なデータ連携にNISMAILを利用している。

※NISMAIL/N6は、輸出入・港湾関連情報処理センターと通信するためのゲートウェイシステムです。

まとめ

クラウド・オンプレミス連携でNISMAILを利用するメリット

開発・導入

データ連携の仕組みを意識せず、独立して業務アプリケーションを開発できます。
クラウド、オンプレミス双方とも**簡単にインストール・設定**できます。

運用

フォルダ連携時は**ファイルをフォルダに置くだけ**で転送できます。

ネットワークやサーバの**障害時でもレジューム転送、自動再送処理**により
確実に転送が可能です。

フォルダ同期の状況を確認できます。

クラウド事業者側のサーバ**メンテナンス時にも利用者は意識せずに運用**できます。
利用者側のサーバメンテナンス時も、相手側を意識せずにメンテナンス可能です。

問合せ先

価格、動作環境、ライセンス形態など
詳細はNEC製品サイトへ。

https://jpn.nec.com/nismail/nm_index.html

お問い合わせは
下記のWebページよりご連絡ください。

<https://jpn.nec.com/nismail/request.html>

\Orchestrating a brighter world

NEC